

政 務 調 査 報 告 書

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦 様

栗山町議会議員 鵜川 和彦

このたび、政務調査のため出張しましたので次のとおり報告します。

日 時	平成24年2月15日 13:00～16:00
視 察 先	岩手県葛巻町 (社)葛巻町畜産開発公社等
調査事項	クリーンエネルギー 第三セクターによる地域活性化
対 応 者	農村環境エネルギー課 鈴木 美知 氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考察 (感想・政策提言、課題など)	1 クリーンエネルギーをはじめ、第三セクターによる地域活性化について、 どのような方法でどう経営しているかを調査。 2 ①交通の利便性が悪く、人口減少が進み、酪農しか産業がない。 ②酪農をより拡大、強くするために、行政が特化してできることを考え、 また、循環型社会、環境にやさしい社会の促進という時流に乗り、 木質バイオマスの利活用、バイオマスプロジェクト(パルプ用チップの製造、 パークペレットの製造、モデル木造施設「森の館ヴェディ」エコパーク 平庭高原「森のこだま館」介護老人保健施設アットホームくずまき) の造成を行い、家畜ふん尿の利活用、メタンガスを使った バイオマスシステルプラント等を設置 3 第三セクターは赤字が多く、一般会計からの繰り入れが問題になるが、 ここは黒字なのか？黒字たとしたらどうしてなのか。 4 風力発電以外は黒字であるとの答弁であった。 風力発電の場合、投資額が多く採算ペースに乗せるのには まだまだインフラボースを整備する必要があるということである。 あと、(社)葛巻町畜産開発公社、葛巻高原食品加工(株)、 (株)グリーンテージくずまきは黒字のようである。

議員が自らドイツへ視察し、ワイン工場を作ったようである。

議員主導で産業を興したと言っていた。大変立派である。

栗山と比べて林業以外産業はなく、そういう恵まれない環境下にあるため

産業振興の思いが強く、また、得意分野である林業においても、

行政が民で困っている点を調査し、それに基づいて産業を検討し、

企業して起業していることに感心した。

栗山町についても農業の6次産業化に向けて考察しなければならない。

[illegible]